



森林資源に根付いた価値創出と サステナビリティへの貢献

王子ホールディングス株式会社

2025年12月25日

はじめに

森林資源に根付いた事業運営



出典：公益財団法人 紙の博物館

渋沢栄一により会社設立



王子造林の設立



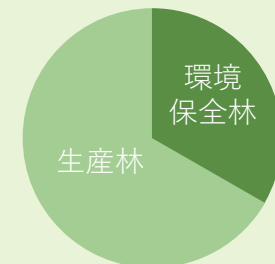
セニブラ（ブラジル）

生産林

環境保全林

世界の王子の森 63.5万ha

再植林による
サステナブル
経営



森林の
保全活動に
注力

1873

1875

1890

1937

1992

2024

森林資源に根付いた
ネイチャーポジティブ経営を継続

木材パルプ製造開始

東京都王子に工場建設

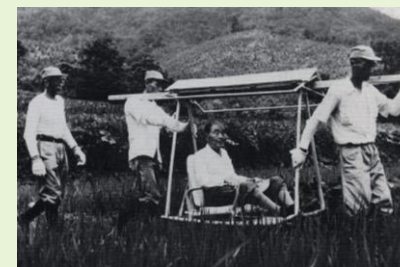
ボロ切れをリサイクル原料として紙を生産

「木を使うものには、木を植える義務がある」

1930年代 当社社長 藤原銀次郎

本格的な海外植林開始

早生樹植林が主流となる



北海道での山林視察の様子

はじめに 事業領域

王子ホールディングス

生活消費財カンパニー

家庭紙、紙おむつ

産業資材カンパニー

段ボール紙、段ボール加工、
白板紙、包装用紙、紙器、紙袋



機能材カンパニー

特殊紙、感熱紙、粘着、
フィルム



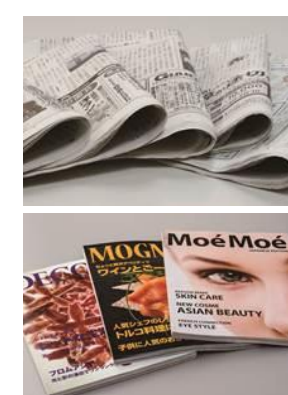
資源ビジネスカンパニー

木材、植林、
パルプ、エネルギー



印刷情報メディアカンパニー

新聞用紙、出版・印刷用紙
情報用紙



コーポレートマネジメントグループ シェアードサービス会社群

- 物流
- エンジニアリング
- 不動産
- 病院
- ホテル
- 保育園 etc.



物流

苫小牧～東京専用RoRo船



エンジニアリング

排水処理プラント設置・運営



病院

王子総合病院(苫小牧)



文化・芸術

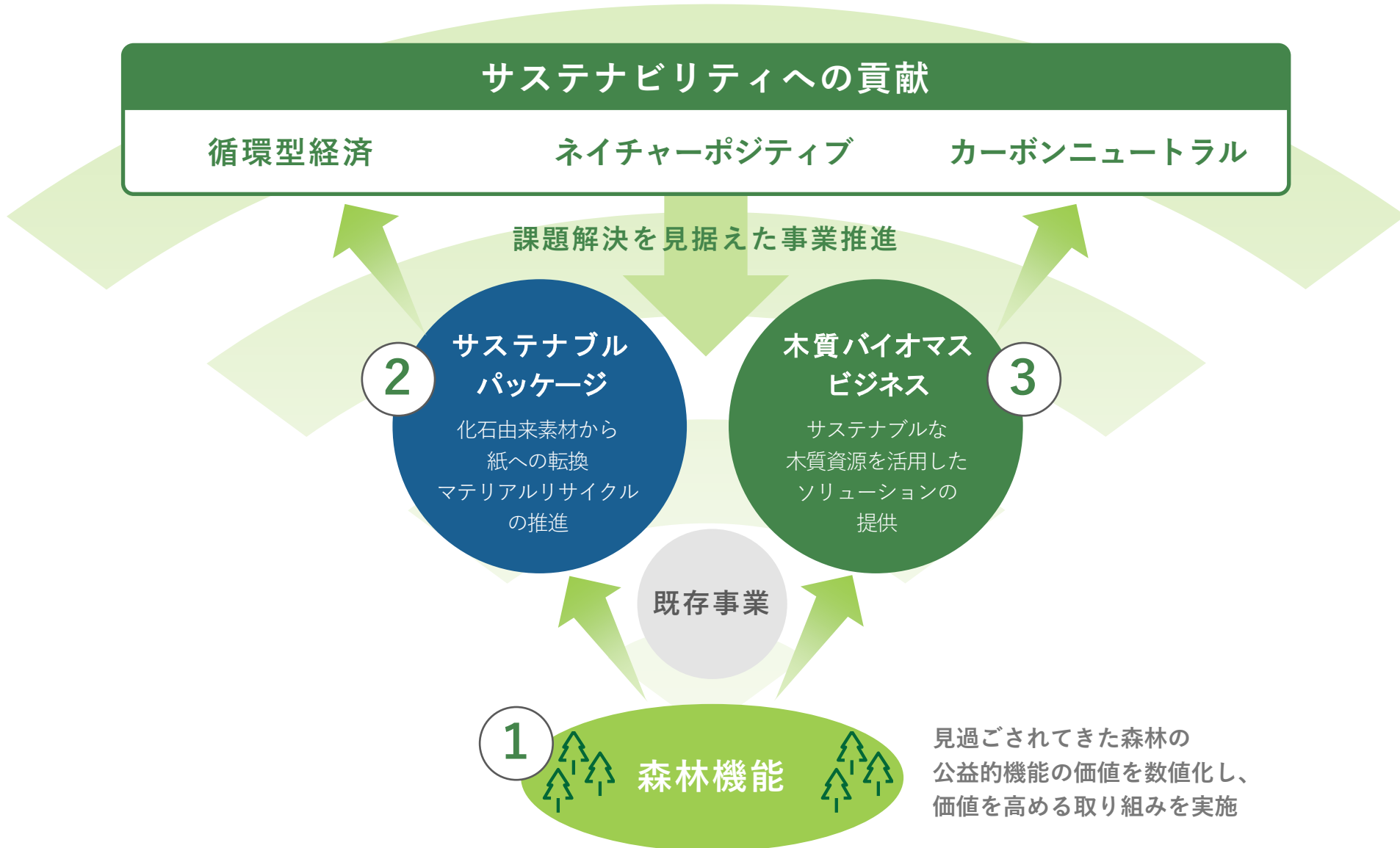
王子ホール(銀座)



保育園

ネピアソダテラス(江戸川)

持続的な成長に向けた取り組み



自然資本会計に関する国際的な流れ

自然資本会計の潮流

持続可能性
の概念の始まり

地球温暖化対策
の国際的協調
の取り組みが進展

ネイチャー
ポジティブ
の取り組みが進展

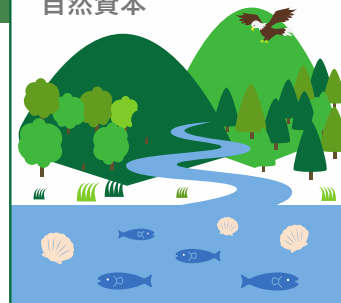
自然資本
会計へ

自然資本会計とは

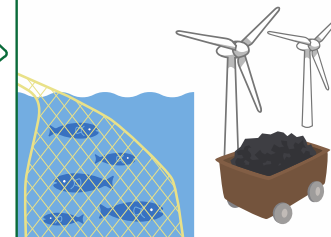
自然資本とは、森林、土壌、水、大気、生物資源等、
自然によって形成される資本（ストック）

これらの自然資本を経済価値として評価し、
会計基準におりこんでいく議論が各国で進行中

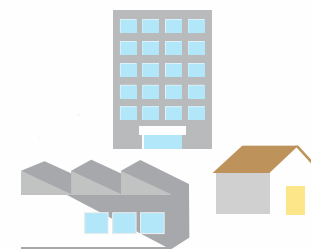
ストック
自然資本



フロー
生態系サービス
非生物的サービス



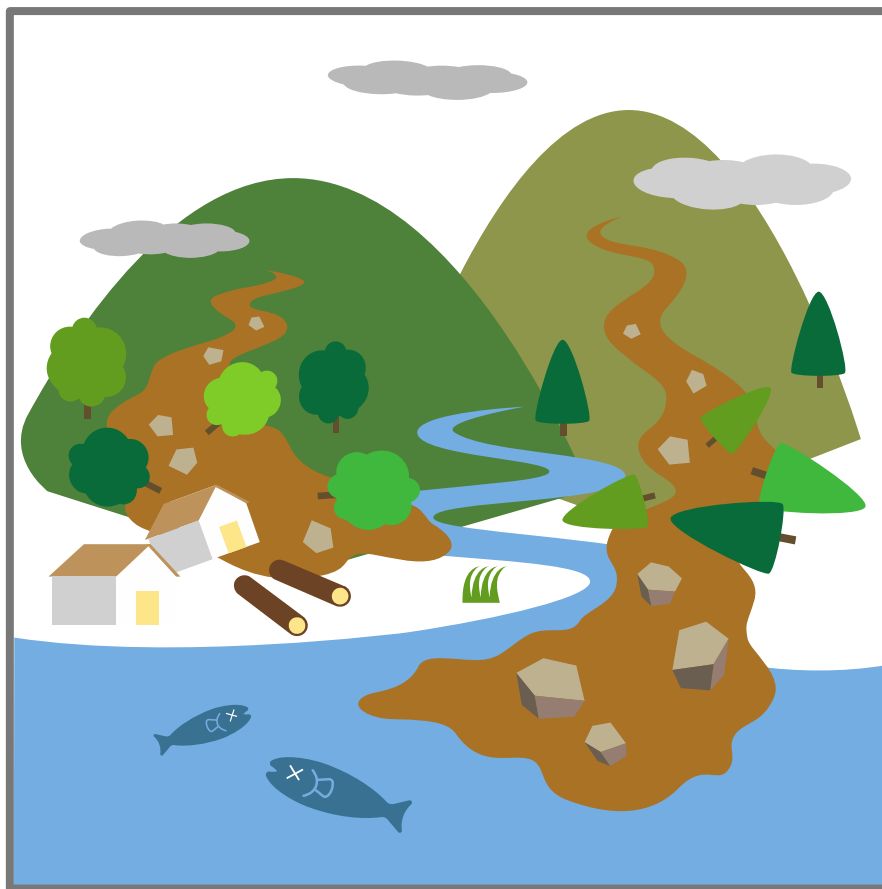
価値
企業と社会への便益



自然資本が経済価値を生む時代へ

健全に管理された王子の森は、森林、土壌、水、大気、生物資源等、自然によって形成される自然資本（ストック）を生む

健全に管理されていない森



健全に管理された王子の森



“Nature on the Balance Sheet”に向けたプロジェクト展開

Project 4 : 東京大学CGC-NBS 日本コンソーシアム

「自然財務諸表」の構築

- ・ 評価、自然資本会計、財務会計の方法を整合させる
- ・ 業界の実証事例を提示する
- ・ 価値を認識し、価格シグナルを更新する

Project 5 : 新プロジェクト検討中

5. 政府による自然資本の
地位の誘導と奨励

4. 自然資本資産/負債の
市場価格化
(例：投資家や中央銀行による)

3. 財務会計で
認識される自然資本

2. 自然資本会計
ビジネスと社会への
価値の定量化

Project 1 :
5,500億円試算
猿払PJ

Project 2 :
NPI SoN パイロット

1. 信頼できるデータに
基づく自然資本評価と
価値の発見

TNFD レポート LEAP
(2024, 2025)

「自然財務諸表」への価値づけ

- ・ マクロ制御、会計手法、資本規則を自然の新たな価値に適応させる
- ・ 新たな科学技術を受け入れる
- ・ 自然に関する政治的なストーリーを再構築する

Project 3 : ISFC 自然資本プロジェクト

王子の森の経済価値（国内）

2024年9月、国内社有林の多面的機能につき、
経済価値の試算額を発表

水源涵養

2,040 億円/年

森林の土壌が、降水を貯留し、
河川へ流れ込む水の量を平準化
して洪水、渇水を防ぎ、さらに
その過程で水質を浄化する役割

生物多様性の保全

430 億円/年

森林が果たしている野生鳥獣の
生息の場としての役割



土砂流出・崩壊防止

2,750 億円/年

森林の下層植生や落葉落枝が
地表の浸食を抑制する役割
森林が根系を張り巡らすことによって
土砂の崩壊を防ぐ役割

大気保全・保健休養

280 億円/年

森林がその成長の過程でCO₂を
吸収し、酸素を供給している役割
森林が人にやすらぎを与え、余暇を
過ごす場として果たしている役割

●林野庁「森林の公益的機能の評価額について」の手法をもとに計算
●社外環境アセスメント会社によるレビュー済み

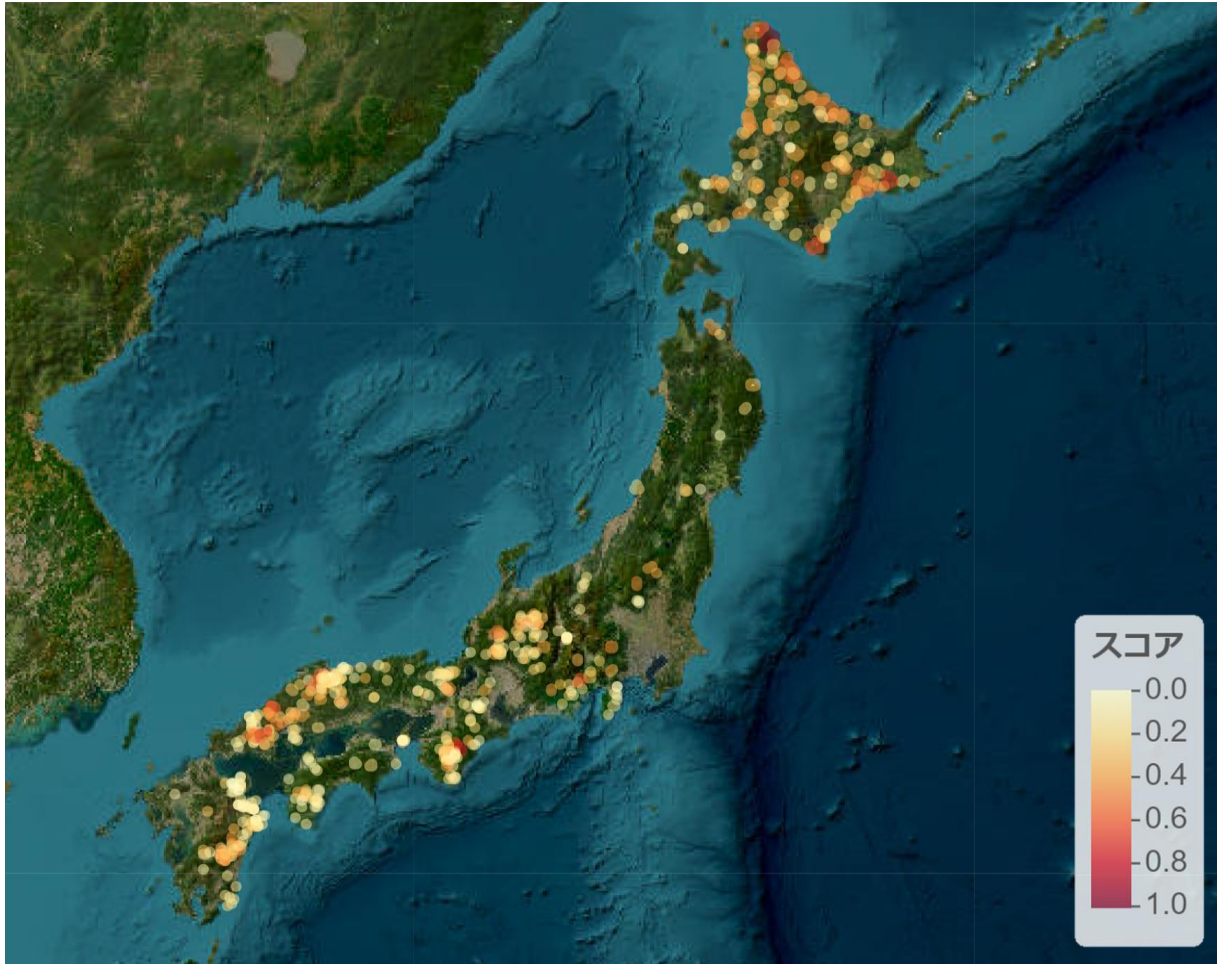
自然資本会計のためのアクション

経済価値の評価には、まず最初に、価値の棚卸と、定量評価手法の確立が必要



生物多様性の見える化（国内）

王子の森 生物多様性の重要度マップ



約650か所の国内の王子の森の生物多様性の観点で重要な場所を抽出（第1位：猿払 王子の森）

生物ビッグデータと地形・気候・植生データ等から構築したモデルで、各社有林の生息生物種を予測、生物多様性重要地域(KBA*)との重なり等も加味し、重要度をスコア化

*KBA:生物多様性の保全の鍵になる重要な地域の指標

「王子の森」生物多様性（国内）

生物 3,000 種 以上

うち 希少種

約 1,400 種

が生息していることが推定される

猿払における王子の森の価値見える化プロジェクトを始動

北海道大学の研究者と共同で重要な5要素(CO₂、生物多様性、土壌、栄養、水)の価値の可視化と自然再生プロジェクトを実施中



猿払(さるふつ)

CO₂

生物
多様性

土壌

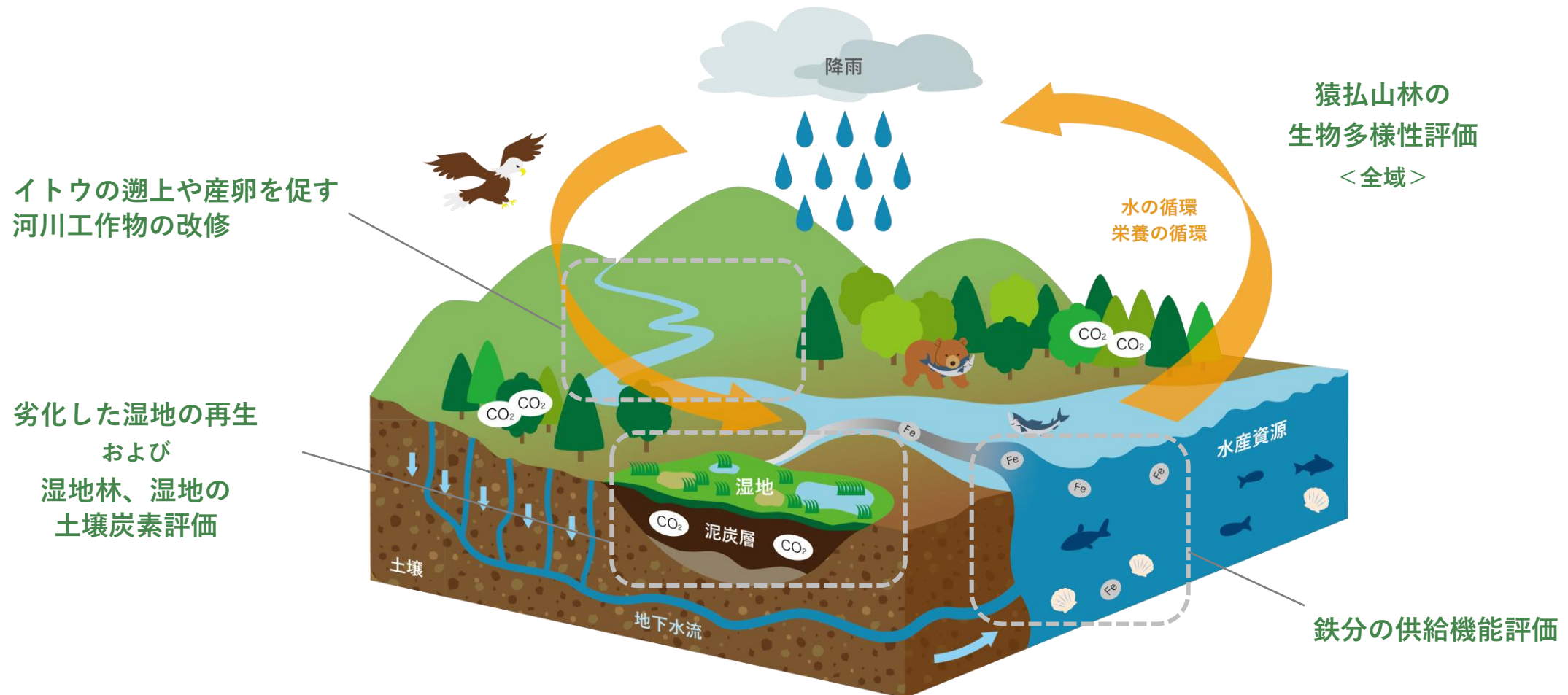
栄養

水

5要素の価値の見える化

【猿払】 5 要素の価値見える化プロジェクト

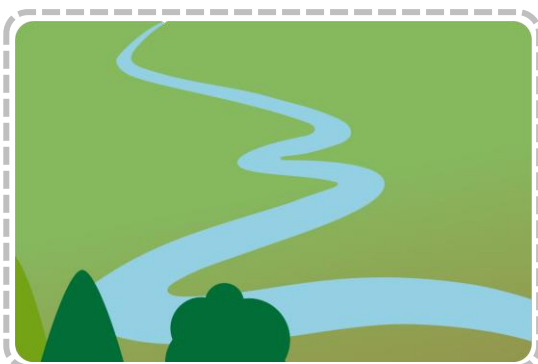
北海道大学の研究者と共同で重要な 5 要素(CO₂、生物多様性、土壌、栄養、水)の価値の可視化と自然再生プロジェクトを実施中



【猿払】 5 要素の価値見える化プロジェクト (2)

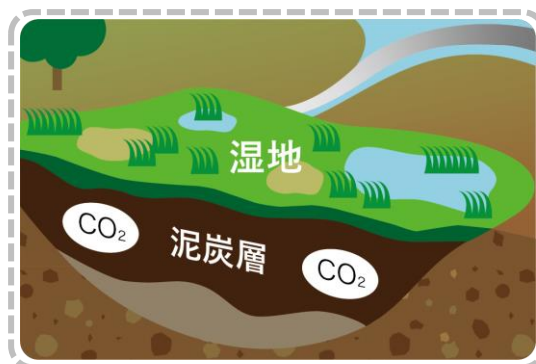
北海道大学の研究者と共同で重要な 5 要素(CO₂、生物多様性、土壌、栄養、水)の価値の可視化と自然再生プロジェクトを実施中

イトウの遡上や産卵を促す
河川工作物の改修



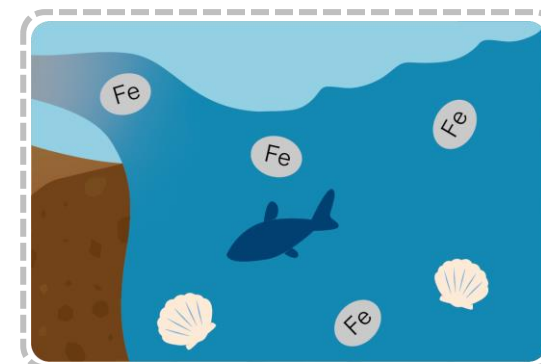
河川工作物（カルバート等）や
直線化された小河川の再蛇行化

劣化した湿地の再生および
湿地林、湿地の土壌炭素評価



湿地の水位を上げて乾燥化を防いだり
湿地の土壌中の炭素を評価

鉄分の供給機能評価



湿地～川～海への鉄分供給機能を評価
湿地が海洋生態系へ与える影響を見える化

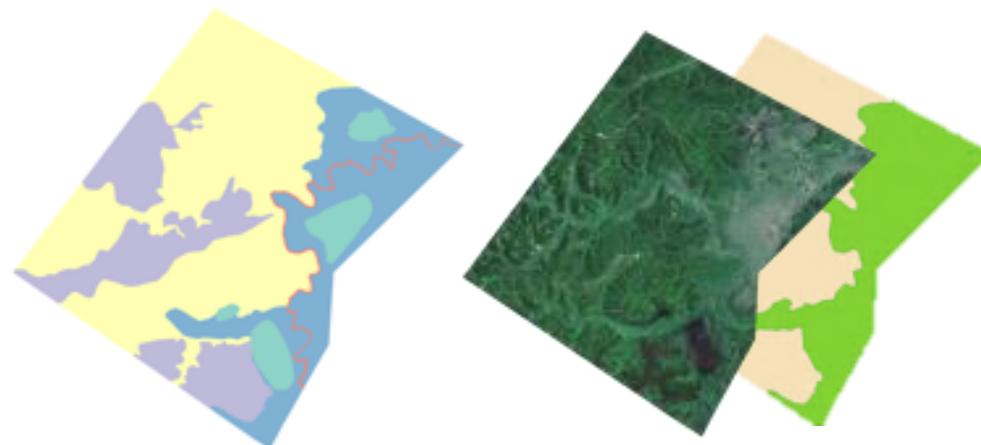
自然の状態指標のグローバルスタンダード作りへの参加

- ✓ Nature Positive Initiative (NPI) は自然関連で世界を代表する27団体による組織 (TNFD, IUCN, WRI, 等)
- ✓ 当社は、地域・セクター横断のNPIの自然の状態指標 (State of Nature Metrics)パイロットプログラムに参加
- ✓ 猿払での二年間の生物多様性と生息地データを活用して、解析を実施

現場で取得した生物多様性 データ+ AI 解析

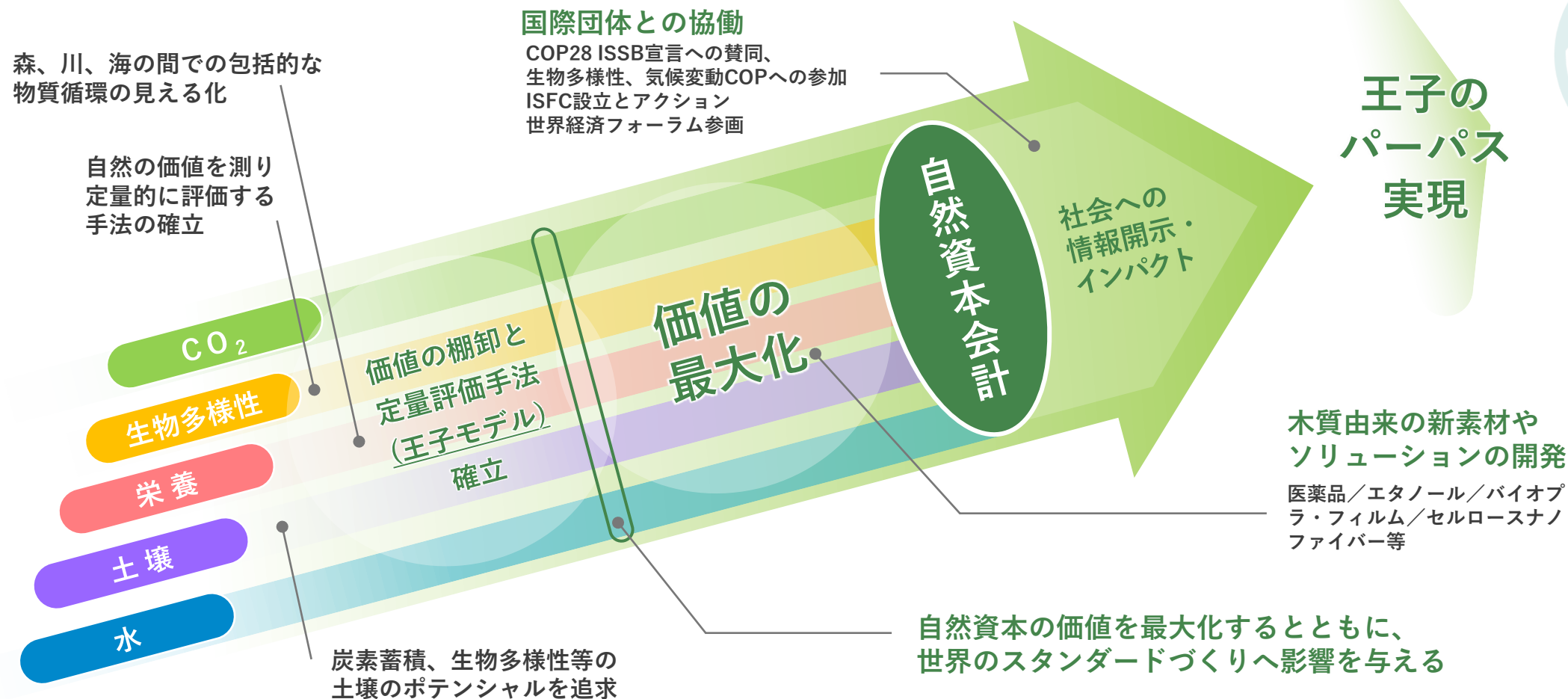


生息地情報の リモートセンシング



王子の森でのチャレンジー次の150年にむけてー

気候変動と自然資本の変化は相互に影響するため、ネイチャー・ポジティブとカーボン・ニュートラル両方の実現を目指し、自然資本会計の時代へ向けたアクションを実行



世界課題へのチャレンジ 国際団体の設立

- 2023年9月世界の森林関連企業とInternational Sustainable Forestry Coalition (ISFC)設立
- メンバー企業は、内外23社、世界31百万haの山林を管理・所有
- 2025年11月弊社磯野CEOがChairmanに就任
- 持続可能な森林管理をベースとした自然資本会計時代に向けた国際的潮流を牽引、COP30にてForestry Natural Capital Projectレポート発表 (Project3)



世界課題へのチャレンジ 国際的枠組みづくりへ



Forest Pavilion
Financing the Climate and Nature Smart, forest based circular
bioeconomy Panel 2025/11/10



Global Commons Forum
Capitalizing Nature for Growth and Stability Panel
2025/10/7



OJI HOLDINGS

Growing Forests, Utilizing Forests.